

事業所名	児童通所支援センター クオレ平岡
------	------------------

公表日 2025年1月20日

数 14人

回収数 6

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			1	実際に子供の数を把握していないため、よくわかりません。	状況に応じて部屋を分けての活動をしています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1	毎回、先生と子供がどれくらいいらっしゃるかを把握していないため、わかりません	配置基準は10名に対し4人ですが、基準に加え1~2人多く配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					子供の特性に合わせて何かできる開かり方があれば教えて頂けたらありがたいです。	お子さんが安心して活動出来るよう環境づくりに努めます。またご質問等ございましたらご相談下さい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	2			まだ通った回数が少ないためわかりません。	個別支援計画を作成し、お子様の特性に応じた個別課題や専門課題を実施しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	6						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1				国で定めるガイドラインは「5領域」ですが、クオレでは「7領域」で細分化された支援を心がけています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1	まだ通った回数が少ないためわかりません。	計画書に基づいて支援をしております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1		1		季節や行事を感じる制作や活動を取り入れています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1	3		幼稚園や保育園と併用利用のお子さんが主なため、事業所主体の交流はありません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1				利用契約時に利用契約書及び重要事項説明書でご説明させて頂いています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	2	3		当事業所ではペアレントトレーニングは実施していません。ご相談やご希望があれば対応いたします。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	5	1				送迎時に直接お話ししたり、連絡帳を使用し情報共有をおこなっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	2	1	1	面談は今あるのか分かりませんが開かり方や本人の成長具合は発達受診前に教えていただけておりとても助けられています。	定期的な保護者面談は行っていませんが、連絡帳や送迎時にご相談があれば都度対応しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1		家族支援も含めご不明、ご要望があれば対応しますのでお気軽にご相談下さい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	4			4	2		現在父母の会や交流会は行っていません。ニーズに応じて検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1			保護者からの相談や面談のご希望があれば、都度面談を設けて対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6						
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1	1		自己評価の結果や、普段の活動内容をSNSやお便りに不定期で発信しています。		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6							
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1	1		契約時に緊急対応マニュアルを画面にて説明、お渡ししています。また、定期的に避難訓練や消防署の指導を受けています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			3		毎年避難訓練を行っています。(今年度：令和6年9月20日・26日)不定期ですがお便りでも報告しています。ご確認下さい。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		事業所安全計画を作成し定期的に会議で研修をしています。また活動前のミーティングで安全面の確認・配慮を確認しております。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1				事故等が発生した場合、速やかに保護者へ連絡、説明をし、必要と判断した場合は、医療機関への搬送も行うよう努めています。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	1				今後もお子様に安心感を持って通所して頂けるよう努力します。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	1	1			会議の中で活動プログラムを固定化せず楽しめるよう検討しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	2			・子供が何か変化や気になることがあった時にすぐに連絡して頂き、こちらの困ってることなど含めて対応して頂いています。子供が安心して通うことができているので、とても感謝しています ・とても子どもが楽しかったといつも喜んでおります。本当にいつも感謝しております	今後ともご満足いただけるよう努力いたします。ご意見、ご要望等お気軽にご相談下さい。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センタークオレ平岡			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～	2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		～	2024年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置が多い為、お子様に対し丁寧な支援を行うことが出来る。	・ 一対一に近い配置でお客様のわずかな変化に気付きやすく、対応も迅速に出来ている。	・ 個々への関わりで得た情報の共有、そのお客様への対応の振り返りを都度おこなっている。 ・ 職員のスキルが求められるのでweb研修は定期的にあるが意見交換の出来る研修会や事業所全体研修の必要性を感じる。
2	製作以外に粗大運動や音楽療法など取り入れ様々な領域にアプローチする療育を行っている。	・ 楽しく活動する中で怪我がないように職員の配置や障害物の撤収などの環境整備の徹底。	・ 音や声に過敏なお子様もいるので無理強いせず別室で個別活動できるよう配慮している。
3	一人ひとりのお子様に合わせて個別課題を実施している。	・ 定例会議や療育前のミーティングなどお客様の状態の変化や成長によって課題を提供している。 ・ 課題提供時、部屋分けやパーテーションで区切り集中しやすい環境設定をしている。	・ お客様が興味を持つような課題の工夫。(ゲーム性のあるものや個人の好きな物を使って課題を作成)

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がビルの3階にあるため、小さなお子様にとって階段の上り下りが負担。	・ 特に事業所前の階段の段差も通常より高く、踏み外し・転落の危険の懸念。	階段での来所、退所時は職員がマンツーマンで付き、手すりを使用し転倒防止を図る。また年齢の小さなお子様に対しては手を繋ぎ安全を確保するよう務める。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ平岡				公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動が部屋分けできるスペースがある為、プログラム毎に適切な空間を設定しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別の対応が出来るよう職員を多めに配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内はフルフラットでバリアフリー化されていますが、車椅子対応ではありません。視覚情報が過多にならないよう構造化も配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除消毒は毎日行っています。その都度、活動内容に合わせて空間作りをしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動状況や子供同士の関わりを把握し、必要に応じて個室やスヌーズレンを利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の会議で、業務改善等の話し合いをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時に直接保護者の意向を伺ったり、個人アンケートを用いて業務や療育内容の改善に繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を設け話し合いの場を持っています。また毎日のミーティングの中で意見交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の評価は行っていませんが評価結果は業務改善の参考にしています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の会議で必要な研修を行なっています。(web研修など)また、外部研修も積極的に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、プログラムに沿った活動内容を連絡帳等を通じ保護者へお伝えしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを行い、計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は全て職員と個別支援会議などで情報を共有し、検討しながら作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ひとりひとりの計画に基づいて療育を進めています。またお子様の個別ファイルを計画のコピーを入れ、支援前に確認するようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時、また定期的にフェイスシートを記入していただき、フォーマル、インフォーマルの適応行動の把握に努めています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目をもとに、一人ひとりに必要な支援を個別支援会議を通じて設定しています。さらに具体的な活動内容を「個別課題」「集団活動」に分けて設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議で全職員からの意見を取り入れながら活動内容を検討しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないよう、成長に合わせて活動内容を都度検討しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じ個別支援と集団支援を組み合わせた活動計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前は、その日行われる活動内容を全員で把握し、役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎サービスの時間の関係上、全員が参加できないこともありますが、日報や記録を用いて支援の振り返りを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援記録を記載し、会議等のミーティングの場で改善に繋げていくツールとして活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の作成の際、ご家庭での様子の聞き取りや事業所での活動の様子をもとに支援の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		出来る限り児童発達管理責任者や常勤職員が参加するように努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて進学をするお子さんに対し、活動報告書の提出や担任の先生と電話面談を通じて情報共有を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		清田区子ども部会に参加することで連携を図り、研修や助言を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育所や幼稚園等の交流実績はありませんが、見学・訪問のご希望には随時対応いたします。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳などを通じ、日頃の活動状況をお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて対応して、面談の際に家族支援や情報提供等を行っています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にパンフレットや資料を提示しご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書を作成する際、ご家庭の様子やアンケートに記入していただき、保護者様のニーズを汲み取りながら計画書の作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後は、ご家庭へ訪問し個別支援計画を示しながら説明を行っています。その際同意も得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの悩みや相談があった場合は電話や面談等を設定し、必要な助言を行っています。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者等の交流会を実施したことはありません。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申し入れがあった際はすぐに対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的にInstagramやクオレだよりを発行し活動内容や情報をお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に個人情報の取扱いについてご説明し、扱いに関しては留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	一人ひとりの特性に合った情報伝達の配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民を招待する実績はありませんが、見学のご希望には随時対応いたします。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	契約時に防犯マニュアルや感染症時の対応を資料をもとにご説明しお渡ししています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	定期的に避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時にアレルギーの有無を確認、緊急時の医療機関や対応を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの有無を契約時に確認しアレルギー表を作成、スタッフ間で周知しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成、研修等会議の中で行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に安全に関わる計画資料を提示しご説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットの事象が発生した際には職員間で共有し、事象の検証をしています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会の設置や、虐待防止の研修をおこなっています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を検討する体制をとっています。		

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	児童通所支援センター クオレ平岡
------	------------------

公表日 2025年1月20日

数 18人

回収数 8

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1			配置基準は10名に対し4人ですが、基準に加え1~2人多く配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			3	事業所内はフルフラットでバリアフリー化されていますが、車椅子対応ではありません。視覚情報が過多にならないよう構造化も配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1	掃除消毒は毎日行っています。その都度活動内容に合わせて空間作りをしています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1	会議等で定期的に見直しお子様一人ひとりに合った支援内容を提供しております。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1		2	季節や行事を感じる制作や活動を取り入れています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	2	3	ないとありますが、平日の学校帰りの短時間にその交流は必要ないと感じます。	児童館等の交流活動の実績はありません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	3	保護者が集まったり、参加できるような会はありませんが、デイサービスで子供の療育をしてもらうだけでなく、困りごとがあった時に家族でどうするか どの福祉を使っていくかというアドバイスや支援もしていたので、概ね満足しています。	当事業所ではペアレントトレーニング・家族会は実施していません。ご相談やご希望があれば対応いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			2		定期的な保護者面談は行っていませんが、連絡帳や送迎時にご相談があれば都度対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	5	2		現在父母の会や交流会は行っておりません。ニーズに応じて検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		1		保護者からの相談や面談のご希望があれば、都度面談を設け対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1				自己評価の結果や、普段の活動内容をSNSやお便りに不定期で発信しています。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1		個人情報に関係するものは鍵付きの書庫で保管しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1				会議の中で活動プログラムを固定化せず楽しめるよう検討しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					課外活動などこちらの希望を聞いて下さり、いつもありがとうございます。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センタークオレ平岡			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～	2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		～	2024年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置が多い為、お子様に対し丁寧な支援を行うことが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一対一に近い配置でお子様のわずかな変化に気が付きやすく、対応も迅速に出来ている。 ・ 課外活動でも安全を確保しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々への関わりで得た情報の共有、そのお子様への対応の振り返りを都度おこなっている。 ・ 職員のスキルが求められるのでweb研修は定期的にあるが意見交換の出来る研修会や事業所全体研修の必要性を感じる。
2	利用のお子様がお暇時等に自己決定で好きな事が出来るよう対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様の特性によって候補を提示して好きなものを選んでもらう。 ・ 手芸部を作りそのコーナーの中で制作をしている。 ・ 自由工作や劇遊びをお友達と発展させる時の仲介やサポート役。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お店屋さんごっこやクオレ祭りなど行事を作り役割分担や何を作るのか等、子供たちが主となって話し合う場を設ける。(職員はサポート役)
3	小学校高学年、中学生向けの生活課題の提示、生活スキルの向上のお手伝い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学や就労など次のステージに必要な生活スキルが身につくよう、生活課題やお手伝いをしている。 ・ 個々の特性や年齢に合わせて課題や手伝いの内容を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども部会などで他事業所との意見交換の中で実際の就労で行っている活動や、身につけていると良いスキルを教えてもらい、教材作りに繋ぎさせている。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様から要望(ボール遊び等)はあるが小学生向けの粗大運動のスペースがない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋のスペースはあるが電灯などの障害物があるのでボール遊び等には適さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽や動画をかけてダンス練習をしている。 ・ 長期休み等体育館やプレイルームの開放場所への課外活動の検討。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ平岡			公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		個別の対応が出来るよう職員を多めに配置しています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		事業所内はフルフラットでバリアフリー化されていますが、車椅子対応ではありません。視覚情報が過多にならないよう構造化も配慮しています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		掃除消毒は毎日行っています。その都度、活動内容に合わせて空間作りをしています。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		活動状況や子供同士の関わりを把握し、必要に応じて個室やスヌーズレンを利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の会議で、業務改善等の話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時に直接保護者の意向を伺ったり、個人アンケートを用いて業務や療育内容の改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を設け話し合いの場を持っています。また毎日のミーティングの中で意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の評価は行っていませんが、評価結果は業務改善の参考にしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の会議で必要な研修を行なっています。(web研修など)また、外部研修も積極的に参加しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、プログラムに沿った活動内容を連絡帳等を通じ保護者へお伝えしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的のアセスメントを行い、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は全ての職員と個別支援会議などで情報を共有し、検討しながら作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ひとりひとりの計画に基づいて療育を進めています。またお子様の個別ファイルに計画のコピーを入れ、支援前に確認するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時、また定期的にフェイスシートを記入していただき、フォーマル、インフォーマルの適応行動の把握に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目をもとに、一人ひとりに必要な支援を個別支援会議を通じて設定しています。さらに具体的な活動内容を「個別課題」「集団活動」に分けて設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議で全職員からの意見を取り入れながら活動内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないよう、お子様の成長に合わせて活動内容を都度検討しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じ個別支援と集団支援を組み合わせた活動計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前は、その日行われる活動内容を全員で把握し、役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎サービスの時間の関係上、全員が参加できないこともありますが、日報や記録を用いて支援の振り返りを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援記録を記載し、会議等のミーティングの場で改善に繋げていくツールとして活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の作成の際、ご家庭での様子の聞き取りや事業所での活動の様子をもとに支援の見直しの必要性を判断しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		個別課題や集団活動、余暇活動の中に組み込みながら支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団活動の遊びの選択、説明等を話し合っ決めていきます。また余暇時間は自分で何をしたいのか決めてもらい対応しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者または児童発達管理責任者が参加するように努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて進学をするお子さんに対し、活動報告書の提出や電話面談等を通じて情報共有を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間行事表を頂いたり、お迎え時に学校での様子や気になる事など担当の職員から引き継ぎしてもらっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービスへの移行実績は今までありませんが、今後そのような状況があれば、保護者の同意のもと情報の提供をします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		清田区子ども部会に参加することで連携を図り、研修や助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	児童館や学童クラブでの交流は行っていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		清田区子ども部会の研修など参加していません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳などを通じ、日頃の活動状況をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていませんが、必要に応じて面談の際に家族支援や情報提供等を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にパンフレットや資料を提示しご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画書を作成する際、ご家庭の様子や聞き取りやアンケートに記入していただき、保護者様のニーズを汲み取りながら計画書の作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後は、ご家庭へ訪問し個別支援計画を示しながら説明を行っています。その際同意も得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの悩みや相談があった場合は電話や面談等を設定し、必要な助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者等の交流会を実施したことはありません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談や申し入れがあった際は対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	定期的にインスタグラムやクオレだよりを発行し活動内容や情報をお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	契約時に個人情報の取扱いについてご説明し、扱いに関しては留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	一人ひとりの特性に合った情報伝達の配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待する実績はありませんが、見学のご希望には随時対応いたします。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	契約時に防犯マニュアルや感染症時の対応を資料をもとにご説明しお渡ししています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	契約時にアレルギーの有無を確認、緊急時の医療機関や対応を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーの有無を契約時に確認、スタッフ間で周知しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成、研修等会議の中で行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	契約時に安全に関わる計画資料を提示しご説明しています。	
	52	ヒヤリハットの事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットの事象が発生した際には職員間で共有し、事象の検証をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止委員会の設置や、虐待防止の研修をおこなっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を検討する体制をとっています。		